

手続きは抜かりなく！迅速に！

受験勉強と共に準備を進めてきた一大イベントの文化祭も、先週幕を閉じました。気持ちを切り替え、いよいよ本格的なスタートです。年内入試、1～3月の入試に向けて、着実に力を付けていきましょう。

一般受験に先駆けて、学校推薦型・総合型選抜入試、そして大学入学共通テストの出願が始まります。各説明会での内容をしっかり理解したうえで、手続きはメッチャ厳守、ミスの無いように行いましょう。

これから10月にかけて夏の取り組み結果が反映される時期です。まだ受験まで時間があると焦りを余り感じない時期でもあります。一方周りの人の成績が上がっている中、自分の成績が上がっていないと不安にさいなまれることもあります。今まで積み重ねてきた勉強や良い判定の模試を思い出し自己肯定感を上げて**平常心**を保ちましょう。**実力は付いてきています。これから絶対に伸びます！！**むやみに、参考書の幅を広げたり、勉強サイクルを崩したりすることは避けましょう。長い受験生活だから、目の前のこと、できることから取り組み、**気持ちをコントロール**していきましょう。

推薦入試に「探究論文」の成果を生かそう！

【探究論文をアピールしよう】

1・2年次の総合的な探究の時間「上野学」では、「文化の杜」上野の様々な文化施設を巡ることなどを通じて、自身の関心に基づくテーマを設定し、先行研究をふまえて調査・研究を行い、最大4500字の探究論文を仕上げました。探究を通じて発見した課題が将来の就職希望先や大学の学部と直結している人も多いかと思えます。

推薦入試のうち総合型選抜（条件を満たせば誰でも出願できる）や学校推薦型選抜（学校長の推薦が必要）において、志望理由書などの出願書類や面接で、**探究論文を自身のアピール・ポイントにすることができま**す。高校生活で取り組んだ部活動、そして委員会、有志活動についてアピールすることもできますが、他の受験生達も同じように頑張ってきたことなので、大きな差がつかないかもしれません（もちろん、全国大会における優秀な成績等は大きなアピール・ポイントになります）。そうすると、全国的には「探究論文を書く」取り組みを行っていない高校もいまだ多く存在する現状、上野高校で書き上げた探究論文をアピールしない手はありません。

【どのようにアピールするか／先輩の例】

とはいえ、自身の探究論文の仕上がりに不安をもつ人もいるでしょう。ただ、探究論文そのものを提出するわけではありません。希望する大学の学部学科を志望する理由のなかに、探究論文で調査・研究を行った成果を交えながら、大学で学びたい学問内容や将来やりたい仕事に繋げて一つの「物語」を作り、説明できれば大丈夫です。

昨年度、富山大学経済学部経営学科の学校推薦型選抜 A 推薦に合格した先輩 K さんの例を挙げましょう。K さんが受けたこの推薦入試の要件は「上野高校内の人数制限あり・調査書の評定平均の要件無し・共通テストの受験義務なし」、選抜方法は「推薦書・調査書・志望理由書・小論文・面接」となっていました。評定平均でほぼ決まってしまう学校推薦型（指定校）とは違い、志望理由書・小論文・面接で差がつく形になっています。以下は K さんの出願書類や面接の準備のために進路指導部で指導した内容です。

K さんの探究論文の内容は多様な性の形が受け入れられる社会になったことをふまえた「セクシャル・マイノリティに対する意識調査」でした。高校時代に頑張ったこととして挙げてくれたのは、1年時に都立大主催の人文・社会科学に関する探究プログラムに志願して参加したこと、そして文化祭でクラス会計を担当したこと、です。富山大学経済学部経営学科では、マーケティングを学んでみたいとのことでした。ちなみに、将来は化粧品開発に興味を持っているようでした。

これらを志望動機として、志望理由書や面接で、「高校での学習を生かして、富山大学経済学部経営学科でマーケティングを学びたい理由」「将来への展望」を一つのわかりやすい「物語」としてまとめる必要がありました。そこでこのような流れを作ることをアドバイスしました。

都立大の探究ゼミに1年生の時に参加し、社会課題について探究する楽しさを学んだ。

- 高校の総合的な探究の時間では、2年間の調査・研究をふまえて探究論文を書き、関心を持っていた「セクシャル・マイノリティに対する意識調査」をテーマに選んだ。
- 文化祭において、飲食を出すクラスの模擬店で会計を担当し、経理に関心をもつとともに、世代や時間帯によりどのような商品にニーズがあるのか、そのちがいを知りたいと思った。そこから大学では経済学、とくにマーケティングを学びたいと考えるようになった。
- また現在、都市一極集中が問題となっており、東京に住んでいる自分だが、地方から自国を眺める視点を持ちたいと考え、富山大学を選んだ。元々親戚も富山県に住んでおり、富山には愛着があった。
- 富山大学経済学部経営学科ではマーケティングを学び、将来は興味のある化粧品開発に関わりたい。とくに「セクシャル・マイノリティ」について探究した結果、そもそもマイノリティをターゲットにした商品は世の中に少ないことに気が付いた。そこで、多様性に配慮した商品開発を行うインクルーシブ・マーケティングの観点から、例えばエスニシティ（民族）に配慮し、肌の色のちがいに配慮したファンデーションを開発してみたい。

もちろん、内容を膨らませている部分がないわけではありません。ただ、限られた面接時間や出願書類で他の受験生達と差をつけるには、これ位の「物語」を作り、説得力を持ったアピールを行う必要があります。また、大学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）と、自分の経験や適性が合っていることもアピールできると良いでしょう。

【参考】 富山大学経済学部経営学科 求める学生像

戦略的な思考、創造的なアイデアをもち、適切な意思決定及び問題を発見・分析・解決できるビジネス・パーソンになる意欲のある人

【書き方がわからない人は進路指導室へ】

総合型選抜や学校推薦型選抜において、探究論文をどのようにアピール・ポイントにすることができるか、わからない人はぜひ進路指導部探究担当（石浦・佐川）まで相談に来てください。

赤本 絶賛貸し出し中！新刊届いています。

大学の「出題傾向と対策」を熟読してから始めましょう！！時間を図ってやり、時間配分も確認しながら進めていくと良いでしょう。

① 進路室から赤本を借りるときには必ず進路の机上にある、ピンクのファイル『赤本貸し出し簿』に正確に記入してください。

貸出簿には、大学名を書くだけでなく、赤本の背表紙に書かれている番号、『23』年度、『24』年度など、年度の数字も忘れずに書いてください。

1泊2日での貸し出しとします。

② 借りた赤本を返却するときには

自分で棚に戻してください。もし、進路指導室の先生がいたら、声をかけ、返却のサインをもらってください。



共通テストまで
あと 119日！

77期生のみなさん、実力急上昇の秋を迎えました！～君たちの力はこんなものではない～

9月以降は夏休みまでに身につけた基礎力を土台に、この時期からは問題演習などの本格的な受験勉強を行う時期といわれますが、10月までは夏休みまでに習得しきれなかった基礎学力の充実や苦手科目の克服に時間をかけてもかまいません。日頃の授業の延長に合格はあるということを忘れないでください。そのために苦手分野をなくすとともに、得意科目を伸ばしていきましょう。

現役生は、9月から入試本番まで、実力が一番伸びるとわれています。

第一志望の国立大学に合格したある先輩は「学力は勉強時間に比例して伸びると思っていたけどそうではなかった。伸びてる実感が無いと思ったら、何度か加速度がついてブレークして偏差値が急上昇する時があって驚いた」と受験を終えての感想を書いていました。なにかとあせってしまう時期ですが、「**現役生は、最後の最後まで学力は伸びる**」という言葉信じて、みんなで受験を乗り切っていきましょう。70期元大学生チューターで千葉大学国際教養学部に進学し、今は国家公務員として活躍しているI.N君のメッセージです。「いよいよ受験を本格的に意識し始める頃かと思います。思ったように成績が伸びずに不安を感じている人も多いと思います。でも大丈夫、しっかりレベルアップしています。夏休みの頑張りは確実に次のステップに進む土台になっています。それに気付くのがもう少し先なだけです。夏で作り上げた基礎という土台の上に、新しい「応用」という武器を作り上げましょう。頑張ってください！」

勉強バッチリ第一志望合格タイプ

- ◎人が使っている教材に惑わされず、普段から学校で使っている教材を信じて、徹底的に使いこなす。
- ◎友達がいってもお互いに黙って自習に集中して専念できる。
- ◎きちんと計画を立てて、時間を見ながらペースを考えて学習を進めている。
- ◎規則正しい生活で睡眠も十分で、集中力が続く。
- ◎理解する・覚える・問題を解くといった学習内容をうまく組み合わせている。
- ◎日頃の授業や補習の学習内容をきちんと押さえ、授業や補習に生かしている。
- ◎英単語や古文単語などは、すき間時間を活用して集中して暗記する。



勉強イマイチ伸び悩みタイプ

- ◎友達とおしゃべりや携帯をいじりながら勉強し、集中しない。
- ◎好きな教科ばかりを学習し、苦手なものはなかなか手がつかない。
- ◎休憩がやたらと多く、集中する前に休憩してしまう。
- ◎何かを暗記する時に、ただと眺めているだけだったり、携帯が気になったり、のぞいたり、実は頭に入っていない。
- ◎受験問題集に取り組むことこそ受験勉強だと勘違いし、日頃の授業、補習、小テスト、定期テストの学習がおろそかになっている。
- ◎先生から言われている地味な学習にきちんと取り組まず、やたらと勉強法ばかりを先生に尋ねては、近道をする特殊な方法があると勘違いしている。
- ◎寝る前にSNSやゲームに時間を取られ、睡眠時間が少なくいつも眠い。

「基礎固めの夏！やるべきことを見失わないように」 75期 東京外国語大学言語文化学部 N. K君

【国公立文系志望の皆さんへ】

国公立大学は科目数が多く大変だし、模試の結果もふるわず、どんな勉強をすればよいか分からないかも知れません。でも今は学校で配られた教材に取り組み、できればそれを完璧にすることを目指しましょう！先生が選んだ教材は理由があって選ばれています。まずはそれをしっかり取り組みましょう。今は基礎養成の時期です。他の友達に差をつけられてあせっても仕方ないです。自分との戦いと思い、目標を見失わず頑張ってください。

【各教科の勉強法】

○英語：長文を多く読むようにしましょう。長文を読む中で単語を覚え、最低限の文法を確認することは大事ですが、共テ、国公立大二次試験や難関私大の英語は長文の内容をどれだけ理解しているかが問われると思います。参考書は『やっておきたい長文700、1000』などがおすすめです。問いに対して正確な日本語で過不足無く答える練習をしましょう。あとは速読英単語を読んで速読力をつけたり、音読・オーバーラッピング・シャドーイングで力をつけたり、すき間時間にリスニングをしたり、少しでも多く英語に触れましょう。また志望校の過去問は早めに解いてみましょう。自分の今の実力を知れるし、対策方法も見えてきます。

「英語はできて当たり前！有名私大は国社で勝負する」 73期 慶應義塾大学文学部 K. H君

【私大文系志望の皆さんへ】

早稲田が第一志望だったので、英・国・社メインで勉強しました。科目数が多い国公立大に比べて楽そうに思えますが、上高生の多くが希望するGMARCH以上の私大は、最終的に3教科を得意にする必要があります。英語はできて当たり前です。英語を極めた上で、国語と社会で勝負をかける意識を持ちましょう。

【各教科の勉強法】

○古文：基本三本柱（単語・文法・古文常識）が大事です！特に文学史を含めた古文常識を知っていると出典を隠した入試問題の読みやすさがケタ違いに良くなります。主語がどこで切り替わるかは動詞で判断しましょう。日本一難しい古典は早稲田の古典です。古典を極めたければ、挑戦してみましょう。

○漢文：とにかく単語・句法を覚えること。これさえできればある程度問題は解けます。あとは漢文常識を含めた文脈で判断しましょう。漢文が苦手な人は、書き下し文と現代語訳の練習をおすすめします。得意な人は早稲田の入試問題に挑戦しましょう。

○現代文：ただやみくもに演習をするのではなく、復習をしてどんなアプローチで解いていくかを確認するのが大事。読み方・解き方を解説している問題集か参考書で確認しましょう。おすすめは『はじめての入試現代文』と『はじめての次の入試現代文』（河合出版）です。漢字と評論用語の学習も忘れないでください。

【総合型選抜入試について】

今大学は総合型選抜入試を増やしています。自分自身9月に併願可の慶應の自主応募制推薦を見つけました。第一志望は早稲田でしたが、ここで合格をキープできれば、安心して一般入試にチャレンジできます。要項を見て、チャンスを見逃さず、自分のものにすることも一つの方法です。

「理系は極めました！国立志望の人は後期も必ず受験しましょう！私大の併願もしっかりと！」 72期 東京理科大学工学部 F. M君

【国公立大志望の皆さんへ】

東京工業大が第一志望だったので、英・数・物化メインで勉強しました。国語や社会は共通テストのみで、東工大の場合は二次の英数理で合否が決まるので、足を引っ張られないように、すき間時間を使って効率よく勉強しました。結果的に千葉大・筑波は共通テストB判定でした。東工大の共通テスト判定はC。配点の高い二次勝負でしたが、残念ながら不合格でした。悔やまれるのは併願です。後期に共通テストB判定だった千葉大か筑波に出していれば、合格の可能性大でしたが、東工大しか頭になかったため、出願しませんでした。私立大も理科大と電機大のみの受験で、早慶あたりも出願しておけばよかったです。国公立大志望の人は必ず後期（中期）を併願することをおすすめします。私立大もきちんと併願していくと悔いが残りません。理系の人は地方国公立大の選択肢もあります。

【物理の勉強法】

○物理にはセンターで満点をとる自信があり一番の得意教科でした。共通テストの問題文は長いですが、何を問われているのかをちゃんと読み取ることが出来れば、大丈夫です。会話文や実験の説明などに惑わされないようにしましょう。

①力学

一番の得点源です。まずこれが完璧にできるか確認しましょう。運動方程式だけでなく、力積、エネルギーなどをしっかり理解しましょう。また応用問題が多い分野なので、実践問題にたくさん触れておきましょう。

②波動

基礎的なところを押さえられているかがカギです。単振動などから、公式がつながっていることで、苦手意識がある人は、どこから理解できていないか、さかのぼって確かめましょう。またドブラー効果やスリットなど、出題のパターンが限られているので、センターの過去問などで練習していくと得意分野になります。

③電磁気

問題を解いている時に、「なぜこの公式を使うのか」と思ったり、そもそも苦手だと感じている人は、教科書や参考書を初めから読み直しましょう。使う公式が序盤からずっとつながっているため、理解に穴があると、応用問題につぶされます。公式のつながりを意識して勉強しましょう。

④熱

物理での熱力学は、問題数が少ないですが、化学とかぶる範囲なので、ちゃんと理解しましょう。とにかく状態方程式が大事です。

【数学の勉強法】

共テ対策と2次・私大対策は別物です。共テは繰り返し予想問題や過去問を解く、あやしい分野は戻ってワークで確認。2次私大は志望校の傾向を知り、それにあった問題を演習していきましょう。

【化学の勉強法】

共通テストでは細かい部分も問われるので、一つずつ丁寧に理解していくことが大切です。

